

2024 年度(令和 6 年度)学校評価自己評価表

培遠中学校区	校番 59	福山市立日吉台小学校
最終更新日		2024年(令和6年)4月4日

I 福山市

ミッション	福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。
ビジョン	「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。

II 中学校区

前年度学校関係者評価の主な内容 ・新しい時代に即した取組を行ってほしい。この先大変なことも多々あると思うが、全ては子ども達のために頑張ってもらいたい。 ・地域とのつながりを大切に子ども達の成長を楽しみに、これからも連携、協力をお願いしたい。	児童生徒の現状 ・小学校では学ぶ意欲はあるものの、全国学力学習状況調査における教科学力は若干下回っている。 ・中学校では、生徒会活動を中心に、学校の課題の改善に努める取組が充実してきた。 ・中学校における長期欠席の生徒は全体の10.5%である。(R4 全国平均3.8)	育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”) めざす子ども像 (義務教育修了時の姿) 中学校区として統一した取組等	課題発見力、論理的思考力、コミュニケーション力、粘り強さ 自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる子ども ・発信、表現の充実を踏まえた生活科・総合的な学習の時間の単元づくり ・相手、目的意識をもたせた特別活動の充実 ・図書館を含めた学習環境の整備
--	---	---	--

III 自校

ミッション 社会の一員としての自覚を持ち、夢に向かって果敢に挑戦しようとする子どもを育成する。	育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)	課題発見力	論理的思考力	コミュニケーション能力	ねばり強さ	
学校教育目標 自ら気づき、考え、判断して行動する子どもの育成	めざす子ども像	低学年	「不思議だな」「何故かな」を見つけることができる。	事柄や時間の順序を整理しながら考えることができる。	自分の思いや考えを相手に伝えることができる。	自分がやるべきことを、あきらめないでやり抜くことができる。
現状 <児童> ・学習活動、委員会・係活動に責任を持って取り組む児童が増えている。「努力すれば自分も大抵のことはできる」94.1%。 「難しい問題でも諦めないで取り組む」93.0%。 「学校・学級で自分の役割を果たしている」96.3%。 ・生活リズムをマネジメントすることができない児童が固定化している。 <授業> ・国語以外の教科でも、自分の考えを書く活動を取り入れている。 ・多様な学び方による授業展開、相手・目的意識を持たせた言語活動に取り組んでいる。 「授業がよく分かる」96.7%。「授業で考えることは楽しい」95.2%。 ・思考力、表現力の定着は個人差が大きい。 期末確認テスト 国語89.1点 算数75.7点		中学年	既習内容や知識をもとに、自ら問いを見つけることができる。	因果関係を整理し、筋道を立てながら考えることができる。	自分の考えと相手の考えを比べながら伝え合うことができる。	目標を持って最後までやり抜くことができる。
		高学年	既習内容や身の回りから探究したい課題を見つけ、解決の見通しを持つことができる。	因果関係を整理し、筋道を立てたり、根拠を明確にしたりしながら考えることができる。	多様な考えを受け入れながら、自分の考えを伝えることができる。	自分の役割を自覚し、役に立つ喜びを感じながらやり抜くことができる。
	研究	テーマ 内容等	学ぶ楽しさを実感しながら、主体的に学びに向かい、力を育む授業づくり ～教材研究による付ける力の共有、目的意識を持たせた言語活動を通して～ 計画的な言語活動、探究的な学び等についての理論研究・単元づくり 小グループでの教材研究・授業研究・協議			
	めざす授業の姿	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが、「なぜ?」「なるほど」「できた」「わかった」と実感する授業 付ける力を子ども達と共有し、力が付いたと実感する授業 子どもが対話したり、解決方法を自分で選択したりする授業 				

福山市立日吉台小学校

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

年目	中期経営目標	重点	分類	短期経営目標	目標達成に向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)				最終評価(2月末)			
							□指標に係る取組状況	力付評価	達成評価	改善方策	□指標に係る取組状況 ◎短期(中期)経営目標の達成状況	力付評価	達成評価	総合評価
3	基礎的な力をつけ、思考力、表現力を育む。	★	継続	<ul style="list-style-type: none"> 読む力、書く力、表現する力の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 重点単元を設定し、思考を問う問題を作成し、実施する。 探究的な展開になるような単元づくりを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 学期末確認テスト(思考・表現等) 国語・算数70点以上 「もっと知りたい、学びたい」 90%以上 								
			新規	<ul style="list-style-type: none"> 学年の重点内容の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 付ける力を児童と共有する。 目的意識を持たせて、言語活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 学期末確認テスト(知識・技能等) 国語・算数70点以上 図書館の利用週1回以上60%以上 								
3	自らに自信を持ち、相手を思いやる心を育成する。	★	継続	<ul style="list-style-type: none"> 自分の役割を自覚しながら、協働してやり抜く力を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> 行動目標に対する振り返りを継続する。 自主的、継続的な係、委員会活動を促進する。 学年か委員会を中心に、児童が企画運営する異学年活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 「学級や委員会で自分の役割を果たしている」90%以上 「目標や努力することを決めて取り組んでいる」90%以上 								
4	自らの生活を律するたくましい心と体を育成する。		継続	<ul style="list-style-type: none"> 体を動かすことの楽しさに気付くとともに、自らの生活習慣をよりよく改善していく態度を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ロングロング昼休憩や朝活ウィーク及び主体的に参加できるレクやイベントを継続する。 メディアの使用時間を意識することができる取組を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 「運動やスポーツ、外遊び等で体を動かすことが好き」90%以上 								

